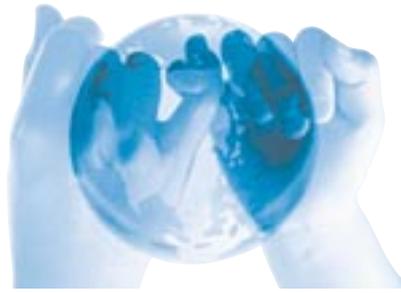


環境だより



環境課 ☎66・1121

地球の温暖化は、CO₂、フロンなどの温室効果ガスが原因で、氷河などの氷を融かし、海面の水位を上げ、低地に住む人々の土地を水没させたり、豪雨や干ばつなどの異常気象を発生させ、穀物の生産を低下させるなど世界各地で深刻な問題を引き起こしています。

このため、日本では京都議定書で定めたCO₂の削減に向けた努力を行っており、工場などの産業部門では、じょじょにその効果を上げています。しかし、家庭生活に伴う温室効果ガスの排出量は年々増え続け、私たち自身も早急な取

環境家計簿のすすめ

り組みが必要となつていきます。市では、市民の皆さんのちよつとした心がけが、地球温暖化の防止に役立つことを理解していただくため、それぞれの家庭で省エネルギーとエコライフをしていただくよう「環境家計簿」を作成しました。これは、光熱水費の節約にもつながる一石二鳥の家計簿です。通常の家計簿とは異なりますが、日々の生活によって発生する二酸化炭素の量を計算することができ、記入は難しいことはありません。

今年の12月までの4カ月以上を記帳した方には、来年の1月4日から先着50人の方にエコバックと粗品を差しあげます。ぜひ、記帳して二酸化炭素の削減に挑戦しましょう。

○環境家計簿配布

8月1日から環境課窓口にて1家庭1冊を限度として千部配布します。ホームページ(http://www.city.gamagori.aichi.jp/c01/cate01_02html)からもダウンロードできます。詳しくは、環境課にお問い合わせください。

西田敏行さん主演の映画「ゲロッパ」(平成15年)が、ラグーナ蒲郡を舞台に撮影されたことは、皆さんの記憶にも新しいところかと思えますが、現在公開されている浅丘ルリ子さん主演の映画「早咲きの花」でも、竹島と三河大島が重要な舞台としてスクリーンに登場しています。この映画は、豊橋市の市制100周年事業の一環として製作されたものですが、メガホンをとった菅原浩志監督には「東三河全域の良さを全国にPRしたい」という思いがあり、蒲郡の竹島・三河大島が東三河を代表する美しい風景として選ばれたというわけです。

光を観よう
市立交流観光
がまごおり
観光交流立市シンボルマーク

商工観光課 ☎66・1120

映画で“光る”蒲郡

特に、映画の中で映し出されている夕闇に浮かぶ三河大島の美しさは、蒲郡の誇りとして胸を張れるものではないでしょうか。

かつてはその他にも、小津安二郎監督の「彼岸花」(昭和33年)で竹島・常磐館が、また、木下恵介監督の「父よ母よ!」(昭和55年)が竹島をロケ地として撮影されるなど、日本を代表する大御所映画監督の作品が蒲郡で撮影されました。「やどかりは夢を見る」(昭和59年)という蒲郡を舞台にしたドラマが放映されたこともあります。最近では、堂本剛さんらが主演した「ファンタステイポ」(平成16年)も生命の海科学館などでロケが行われました。

豊橋や浜松でも地元を舞台とした映画が製作され、岡崎でも連続ドラマが撮影されています。ロケ地としてだけでなく、いつかは蒲郡を舞台にしたストーリーで映画やドラマが作られる日が来るといいですよ。